






# 縄文女子の妄想トーク


## 魅惑の黒曜石


-  20年前から北海道の縄文PRに力を注いでいる、縄文沼の女神様
-  縄文とカエルをこよなく愛し、オリジナルグッズ販売やイベント主催など大活躍
-  某研究室の片隅で縄文の魅力を発信中じわじわ縄文ファンを増殖させている
-  北海道エリアの遺物に興味津々グッズにできそうな遺物を探している


今回の妄想トークのメンバー




 ついに中空土偶「カックウ」に続いて、北海道に2つ目の国宝が誕生したね！しかも旧石器時代の国宝は国内初よ！


 遠軽町白滝地区の黒曜石!!


 おめでとう～!! パチパチパチ


 今回は、縄文人にとって大切な存在だった魅惑の黒曜石について語っていくわよ！





 「石好き」な私は、河原で黒曜石を見つけるのが得意なの。溶岩が固まってできた黒曜石はもともと黒く光って鋭い形。それが川で流されて転がるうちに角が取れて丸い形になるの。外側は削れて白っぽくなっているけれど、割ると黒くてキラキラ。私にとっても特別な石だから、見つけたらかなりテンションが上がるわ。


 現代人も虜にしちゃう黒曜石、旧石器人や縄文人にとってはどんな存在だったんだろう？

 道具としては最高だね。加工がしやすく、ガラス質だから割れば切れ味抜群。ナイフにしたり、ヤリや矢の先につけたり。時代によっても異なるけどいろいろな道具に使われたようね。


 用途に合わせて、尖らせたり、まるくしたり…いくら加工しやすいといっても、当時の加工技術も知恵もすごいよね。

 それに、見た目もキレイ！見えない力に守られているような気持ちになるわ。


 黒曜石は「オープンディアン」とも呼ばれていて、良くないものを遠ざけて身を守るパワーストーンとされているそうね。日本だけでなく世界でも古代から特別な石だったみたい。


 へー！世界の人々も虜にする黒曜石ってすごい！世界の黒曜石もみてみたいなあ。





 ねえねえ、なんだか不思議な形の石器（異形石器）ってあるじゃない？これは何に使ったんだと思う？（p2）




 そりゃあ見せびらかすためじゃない？「こんな複雑な形の作っちゃったよ～」ってみんなに自慢してたりして。

 普通の石器より細かいギザギザや切れ込みが入っていたりして、作るの難しそうだね。

 石器づくりの師匠が「これを作るようになったら一人前だ」とか言って弟子にチャレンジさせていたのかも。

 いろいろな技術がギュッと詰まった不思議な形の石器。確かにこれは自慢したくなるわ。

 石器づくりの技術を競う「異形石器コンテスト」とかあったらおもしろいよね(笑)

# 縄文人と黒曜石

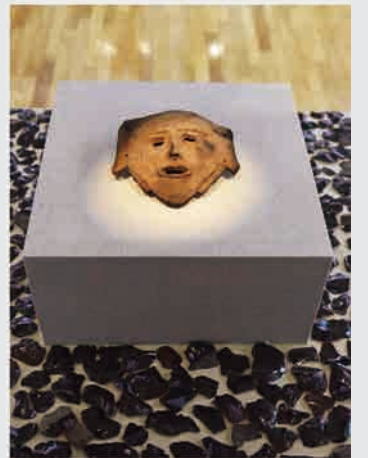
旧石器時代が終わって暖くなった縄文時代。シカやウサギなどの中・小動物が出現し、木の実や魚貝を食糧として定住し始めました。石器の形も使い方も、環境にあわせて変わっていきました。

## 「矢じり」もモデルチェンジ！



獲物をとるために、矢の先につける矢じりを作った縄文人。特に暖かくなって食糧を得やすくなった「縄文中期」は、あまり上手ではない？

## ママチ土面と黒曜石



土面：国（文化庁）保管

ママチ遺跡の墓からは、黒曜石が副葬品としてたくさん出土しました。遠軽町や置戸町からはるばる運ばれたようです。

## 異形石器は何のため？



不思議な形のいろいろな石器も出土しています。一体何に使ったのか？ 縄文人にとって黒曜石はどんな存在だったのか…？ ナゾが深まります。

※北海道立埋蔵文化財センターで聞いてきました。（写真の出土品は同センター所蔵）